

魚市場の今後のあり方専門部会について

1 目 的

近年、水揚げの減少に加え、物価・エネルギー価格の高騰やトラックの不足による輸送能力の低下など、当市の水産業を取り巻く環境が年々厳しさを増す中、卸売業者の経営悪化など、当市魚市場における課題が顕在化している。

このことから、関係者間で当市の魚市場が抱える課題を共有し、海洋環境・社会情勢が変化する中において、今後も当市の魚市場機能を維持していくための具体的な取組を検討する場として、本年4月、八戸水産アカデミーに新たに「魚市場の今後のあり方専門部会」を設置したものの。

2 組 織

No.	所 属	役 職	氏 名
1	八戸水産仲買人協同組合	理事長	野田 一夫
2	八戸みなと漁業協同組合	代表理事組合長	尾崎 幸弘
3	東北旋網漁業協同組合青森支所	支所長	安田 充昭
4	八戸機船漁業協同組合	監 事	秋山 貴志
5	八戸いか釣漁業協議会	会 長	谷地 充晴
6	株式会社八戸魚市場	常務取締役	林崎 孝志
7	株式会社八戸魚市場	取締役市場部長	深川 正人
8	八戸水産加工業協同組合連合会	副会長	武輪 俊彦
9	八戸港廻船問屋組合	組合長	中道 栄治
10	青森県トラック協会三八支部	常務理事	飯山 眞也
11	八戸学院大学	地域経営学部長	田中 哲

3 開催状況

回	開催日	協議案件
第 1 回	R7.4.30	・「（仮称）魚市場の今後のあり方専門部会」について ・専門部会の名称について
第 2 回	R7.5.23	・各種漁業における水揚げ・販売形態等の見直しについて ・買受人制度の見直しについて
第 3 回	R7.8.25	・株式会社八戸魚市場の経営改善に向けた取組について ・各種漁業における水揚げ・販売形態等の課題と改善策について ・第三魚市場A棟の運用方法について

回	開催日	協議案件
第4回	R7.10.1	<ul style="list-style-type: none"> ・各種漁業における水揚げ・販売形態等の改善策について ・株式会社八戸魚市場の経営改善に向けた取組について ・魚市場施設の課題について ・地方卸売市場八戸市魚市場事業経営戦略の見直しについて
第5回	R7.11.14	<ul style="list-style-type: none"> ・各種漁業における水揚げ・販売形態等の改善策について ・株式会社八戸魚市場の経営改善に向けた取組について ・魚市場施設の課題について

4 協議の経過

検討テーマを「魚市場機能のあり方の見直し」とし、検討事項1「水揚げ・販売形態等の見直し」、検討事項2「買受人制度の見直し」の2つの検討事項について協議を進めているもの。

検討事項1 水揚げ・販売形態等の見直しについて

《項目① 各種漁業における水揚げ・販売形態等の課題と改善策について》

[検討内容]

各種漁業における水揚げから出荷に至るまでの各工程の課題を洗い出し、改善策について検討するもの。

[主な意見]

- まき網漁業 : 水揚げ処理能力の強化のため、運送事業者が共用できる水揚げ容器のほか、魚市場周辺に容器の保管場所の確保が必要
- 大中型いか釣漁業 : 作業全体の効率化のため、漁船が入港する前に入札販売を行う「入港前販売」の実施
- 底びき網漁業 : セリの開始時間を早めることで、小売店の販売開始時間に間に合うよう出荷することや、販売方法のセリから入札への変更、電子入札の導入検討
- 沿岸漁業 : 活魚水槽の運用方法の見直しが必要

《項目② 魚市場施設の課題について》

[検討内容]

より効率的な市場運営を目指し、魚市場施設の今後のあり方とともに、老朽化が進む第一魚市場の今後の運用方針について検討するもの。

[主な意見]

- 第一魚市場の管理棟は建て替えるべき。
- 経費削減の観点から第一魚市場の機能を第三魚市場に移し、A棟を管理棟として活用してはどうか。
- 老朽化が進む第三魚市場管理棟を建て替え、第一魚市場管理棟の機能を集約してはどうか。

《項目③ 第三魚市場A棟の運用方法について》

【検討内容】

施設改修後の第三魚市場A棟の運用方法について検討するもの。

【主な意見】

- ホテルやレストランといった海業施設としての活用の検討
- まき網漁船だけでなく、大型底引き網漁船や定置網漁船などの利用の検討
- ⇒ 施設改修後のA棟は3パターンの方法で運用する方針を決定。8月30日に全量の水揚げしてサンプル展示し、入札後に出荷する方法で施設改修後初稼働

《項目④ 株式会社八戸魚市場の経営改善に向けた取組について》

【検討内容】

水揚げの減少に加え、電気料金の高騰などにより厳しい経営を強いられている卸売業者について、早期の経営改善に向けた取組を検討するもの。

【主な意見】

- 水揚げが減少している中、販売委託手数料収入に依存した経営改善は困難
- 海況が変わり、獲れる魚も変化する中で、新たな魚種を取り扱っていく必要性
- 仲買人として魚を買付けて他地域へ出荷する等の営業活動の強化
- 市内の水産加工業者と連携した水産加工品の開発・販売の強化
- 氷が不足している地域への製氷販売の強化
- 水揚げに必要となる計量作業員や選別作業員の増員
- FAX や LINE などを活用した他港の水揚げ情報の提供

検討事項2 買受人制度の見直しについて

【検討内容】

魚市場でセリ・入札に参加する買受人が年々減少していることから、市場取引の活性化を目的に、買受人の新規参入に関する基準の見直しについて検討するもの。

【主な意見】

- 漁業者と卸売業者にとって、買受人が多いほどありがたい。
- 現在の承認基準は条件が厳しく、買受人希望者が参入しやすいように見直すべき。
- 買受人の多くは小売店相手に商売をしており、その小売店を買受人として承認することは、既存の買受人の理解が得られないのではないか。
- 承認基準の見直しは、既存の買受人への影響を考慮しながら慎重に検討すべき。

【今後の予定】

- 買受人で組織される八戸水産仲買人協同組合において、他港における承認基準を参考に見直し案について検討中
- 同組合の見直し案を基に、今後、専門部会において承認基準の見直しについて検討

5 今後のスケジュール

回	開催日	協議案件
第6回	R7.12.25	・買受人制度の見直しについて ・各種漁業における水揚げ・販売形態等の改善策について ・魚市場施設の課題について
第7回	R8.1月	・水揚げ・販売形態等の見直しに関する提言内容の確認 ・買受人制度の見直しに関する提言内容の確認
提言※	R8.2月	専門部会での検討結果を八戸市及び株式会社八戸魚市場へ提言

※専門部会からの提言の取り扱いについて

- 市では、提言の内容を踏まえ、各種漁業の水揚げ・販売形態等の課題に対する改善策の実施や第一魚市場の今後の運用方針についての検討のほか、買受人制度の見直しに向けた手続きを進める。
- 株式会社八戸魚市場では、提言で示された経営改善に向けた取組（案）の実施について検討を進めることとし、その実施に当たっては必要に応じて市も支援する。